

2024.7.5



P6の写真のキャプションを変更します。

2024年7月5日（金）
愛知県経済産業局革新事業創造部
海外連携推進課海外戦略グループ
担当 奥山、伊藤
内線 5371、5264
ダイヤルイン 052-954-7526
愛知県経済産業局産業科学技術課
水素社会実装推進室
水素企画グループ
担当 都筑、亀山
内線 3385、5742
ダイヤルイン 052-954-7416
愛知県県民文化局文化部文化芸術課
企画グループ
担当 松宮、榊原
内線 2458、2456
ダイヤルイン 052-954-6184

知事のポルトガル・スペイン渡航中の行事結果について

2024年7月4日（木）午後、知事はポルトガル共和国に到着し、リスボン市において再生可能エネルギー企業 E D P ^{イーディーピー} を訪問。モニカ・ガメイロ CEO 付チーフ・スタッフと意見交換を行いました。

その後、ポルトガル共和国エネルギー庁 ^{アデン} (ADENE) を訪問し、ブルーノ・ヴェロージョ バイスプレジデントと意見交換しました。

次に、外務省においてパウロ・ランジェール外務大臣と面談し、「文化分野に関する覚書」を締結しました。

1 再生可能エネルギー企業 EDP 訪問

（担当課：産業科学技術課水素社会実装推進室）

(1) 日時

2024年7月4日（木）午後3時から午後4時まで
（日本時間7月4日（木）午後11時から午前0時まで）

(2) 場所

EDP 本社

(3) 面談者

モニカ・ガメイロ CEO 付チーフ・スタッフ始め 10名

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

ポルトガル政府から紹介を受け、再生可能エネルギーからの発電に積極的に取り組んでいる EDP を訪問しました。

始めにガメイロ CEO 付チーフ・スタッフから EDP の再生可能エネルギーの取組状況について、「EDP が今世界中で発電している 97%が水力、風力、太陽光などの再生可能エネルギーであり、当社は世界的にも持続可能な企業だと認識されている。EU に次いで、南北アメリカ・アジアでも積極的に投資をしており、既に日本でも 6 か所に投資しており、さらに増やしていきたい。」と説明がありました。

次に、大村知事から愛知県における再生可能エネルギーの取組状況について紹介し「愛知県にある（株）JERA ^{ジェラ}では、石炭火力発電所の燃料をアンモニアに転換する世界的にも最先端の取組を行っている。また、今年度から、浮体型では日本で最大級となる洋上風力発電の実証に取り組むこととしている。」と説明しました。



EDP での面談の様子



ガメイロ CEO 付チーフスタッフ
(右から 4 人目) との
記念撮影

【再生可能エネルギー企業（EDP）の概要】

(1) 設立 1976 年

(2) 代表者 アントニオ・メシア CEO

(3) 事業概要

- EDP は、電力事業や天然ガス事業を行うエネルギー企業であり、ポルトガル政府により国営企業として 1976 年に設立された。なお、1997 年の株式上場以降、ポルトガル政府が徐々に株式を売却し、2013 年に全ての保有株式を売却して民営化されている。

- EDP Renewables は EDP の再生可能エネルギー分野の子会社として 2007 年に設立、再生可能エネルギーによる発電所の設計、開発、管理、運営を行っている。

- EDPR とフランスのエネルギー企業 ENGIE により 2019 年に設立された洋上風力発電の合弁企業 エンジエ OCEAN WINDS オーシャン ウィンズ は、ポルトガルで洋上風力発電所を設置する ウィントフロート アトランティック WindFloat Atlantic プロジェクトに参画。この発電所は半潜水式浮体型*であり、ポルトガル北部のヴィアナ・ド・カステロ沖に位置する。2020 年に稼働開始。

※半潜水式浮体型：基礎部分の構造物が、半分海面下に沈み込んでいる構造

2 ポルトガル共和国エネルギー庁（^{アデン}ADENE）訪問

（担当課：産業科学技術課水素社会実装推進室）

(1) 日時

2024年7月4日（木）午後4時30分から午後5時30分まで
（日本時間7月5日（金）午前0時30分から午前1時30分まで）

(2) 場所

ポルトガル共和国エネルギー庁 庁舎

(3) 面談者

ブルーノ・ヴェローゾ バイスプレジデント始め6名

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

ポルトガルにおいてエネルギーの効率化を進める ADENE のヴェローゾ バイスプレジデントと面談を行い、建築物のエネルギー性能を評価する認証制度、水の効率的な利用促進及びアカデミーによる青少年に対する再生可能エネルギーの理解促進に関する取り組みなどについて、説明を受けました。

大村知事は、「建物の省エネルギー化や水利用の効率化については、愛知県としても ZEB*を重視するとともに、愛知県に流れる矢作川や豊川などで水循環をキーワードに再生可能エネルギー等の導入を進めるなど、同様の課題に取り組んでおり、大変興味深く聞かせていただいた。」と県の取組を紹介しました。また、「省エネなどの観点を、アカデミーを通じて理解を促進させ、あわせて人材の育成に努める大変すばらしい取組だ。」と発言しました。

さらに、今後の課題として大村知事は、「新しい環境基準に従った建築物はもちろんのこと、新基準が適応されない古い建築物のエネルギー効率化は早急に解決すべきもの。また、昨今、世界的に整備が進むデータセンターは、生成 AI の利用増加に伴って、かなりの電気使用とともに、高い廃熱が課題となる。」と話しをしたところ、ヴェローゾ バイスプレジデントからは、「廃熱を再利用することも検討している。」との発言があり、この新たな課題への対応の方向性を議論しました。

※ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：自然エネルギーの利用と高効率設備の導入により省エネを進めることで、年間で消費する建築物のエネルギー量を大幅に削減するとともに太陽光発電などにより再生可能エネルギーを創出し、快適な室内環境を実現しながらエネルギー収支「ゼロ」を目指した非住宅建築物のこと



ADENE での面談の様子



ヴェローゾ バイスプレジデント（左から3人目）との 記念撮影

【ポルトガル共和国エネルギー庁(ADENE)の概要】

(1) 設立 2000年9月

(2) 代表者 ネルソン・ラージ プレジデント

(3) 所管 環境・エネルギー省

(4) 事業概要

- ・ 公共政策に基づく活動を開発・実施する公益機関（民間の非営利団体）
- ・ エネルギー、水の効率的な使用、モビリティのエネルギー効率の分野で公益活動を行う。
- ・ 建築物のエネルギー性能を評価する建築物エネルギー認証制度の管理機関
- ・ 建築水効率評価システムや企業等の組織内の車両管理のエネルギー・CO2削減を効率化するためのプラットフォームを提供
- ・ 建物のエネルギー認証に関する専門的なトレーニングと、エネルギー効率、再生可能エネルギー、水効率、効率的なモビリティの分野におけるスキルの強化を促進するプログラムである ADENE アカデミーを提供
- ・ 国内の自治体のエネルギー部門やエネルギー関係団体と連携するほか、欧州のエネルギー機関のネットワークにも加盟

3 ポルトガル共和国外務大臣との面談、覚書締結

(担当課：文化芸術課)

(1) 日時

2024年7月4日(木)午後7時30分から午後8時20分まで
(日本時間7月5日(金)午前3時30分から午前4時20分まで)

(2) 場所

ポルトガル共和国外務省 庁舎

(3) ランジェル外務大臣との面談について

覚書締結式の前に行われた知事とランジェル外務大臣との面談では、始めにランジェル外務大臣から「ポルトガルと日本の交流が始まって480年が経つ。歴史を積み重ねてきた日本から訪問していただき、大変嬉しく思う。これからも友好をさらに重ねていきたい。」と挨拶があり、歓迎されました。

大村知事からは、「ポルトガルには、愛知県からトヨタ、デンソー、カゴメなど10の企業が進出している。さらに、近年はスタートアップに力を入れており、今後も経済面で交流を重ねていきたい。」「文化面では、愛知県は伝統的な陶磁器の産地であり、ポルトガルのアズレージョの展覧会も開催されたことがある。また、近年は現代アートにも力を入れており、2022年の国際芸術祭にはポルトガル出身のレオノール・アントゥネス氏の素晴らしい作品を展示した。是非、今後は文化面で人材交流を含めて連携を進めていきたい。」「日本・愛知は、2028年技能五輪国際大会の開催地に立候補しており、その開催地は、9月に開催される「WSI※」の総会で決定する。本大会は1950年にポルトガルとスペインで第1回大会が開催された。是非御支援をお願いしたい。」「今回の締結を契機に、ポルトガルと愛知県の交流・連携がますます深まり、末永く続くことを祈っている。」と発言しました。

※WSI: ワールドスキルズ インターナショナル WorldSkills International 技能五輪大会を運営する国際団体

(4) 覚書締結式について

ア 署名者

大村秀章知事

ヌノ・サンパイオ外務・国際協力担当副大臣

イ 覚書名称

日本国愛知県とポルトガル共和国外務省との友好交流及び相互協力に関する覚書

ウ 覚書内容

- ・両署名者は、尊敬と相互信頼に基づく緊密な友好関係の確立に努力する。
- ・両署名者は、特に文化交流を含め、それぞれの権限の範囲内で相互に有益と認められる分野において協力する。
- ・双方の利益のため、署名者は、それぞれの権限の範囲内で幅広い分野における官民交流の促進に努めるものとする。

エ 出席者

パウロ・ランジェル外務大臣

ヌノ・サンパイオ外務・国際協力担当副大臣

ビトール・マルセリーノアジア・オセアニア担当部長

インディラ・ノローニャ渉外担当副部長

フェリペ・ロマーリョ・オルティガオチーフスタッフ

ジョアナ・ガスパール理事 (ポルトガル投資貿易振興庁)

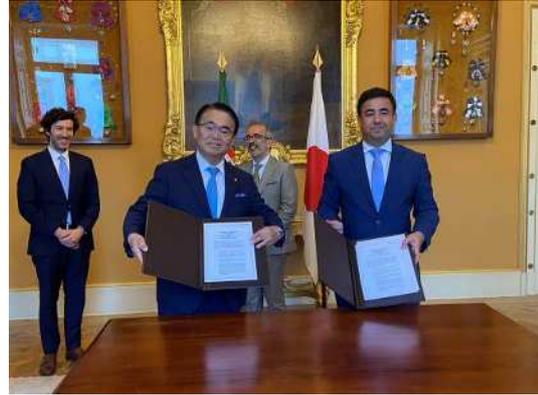
マリア・マヌエル・ブランコ機関・渉外担当副部長 (ポルトガル投資貿易振興庁)

おおたまこと 太田 誠 在ポルトガル日本国大使館特命全権大使

いわたたかひろ 岩戸 孝広 在ポルトガル日本国大使館一等書記官



ポルトガル共和国外務省 ランジェエル外務大臣との記念撮影



ポルトガル共和国外務省 サンパイオ副大臣（左から4人目）との覚書締結立会いとして、ランジェエル外務大臣（左から3人目）と経済省 ジョアン・ルイ・フェレイラ経済担当副大臣（左から1人目）

ポルトガル・スペイン渡航日程の概要（予定）

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 配布予定 (日本時間)
7/3 (水)	19:30 21:40	名古屋→羽田空港（鉄道） 羽田空港着 羽田空港発（NH203）	機中	—
7/4 (木)	05:20 09:15 11:25 15:00 16:30 16:45 19:30 調整中	フランクフルト空港着 フランクフルト空港発（LH1166） リスボン空港着 EDP 洋上風力発電関連企業（ OCEAN WINDS ）訪問 エネルギー庁訪問 覚書 外務大臣との面談、 MOU 締結式及び夕食会 ポルトガル首相との面談	リスボン	7/5（金） 午後2時
7/5 (金)	10:00 16:00 17:30 調整中	スタートアップ支援拠点（UNICORN FACTORY）訪問 覚書 及びスタートアップポルトガルとの MOU 締結式 覚書 経済大臣との面談、 MOU 締結式 グリーン水素関連企業（Galp）訪問 ポルトガル首相との面談	リスボン	7/6（土） 午後2時
7/6 (土)	17:00 19:20	リスボン空港発（TP1018） マドリード=バラハス空港着	マドリード	—
7/7 (日)		—	マドリード	—
7/8 (月)	09:00 11:00 13:00 16:00 17:30	マドリード州投資促進組織（Invest in Madrid）訪問 グリーン水素関連企業（Canal de Isabel II）訪問 覚書 マドリード州知事との面談、 MOU 締結式及び昼食会 スタートアップ支援組織（Madrid in Game）訪問 マドリード州経済団体（CEIM）訪問	マドリード	7/9（火） 午後2時
7/9 (火)	13:00 15:35 20:45	マドリード=バラハス空港発（LH1113） フランクフルト空港着 フランクフルト空港発（NH224）	機中	—
7/10 (水)	16:45 18:25 19:25	羽田空港着 羽田空港発（NH085） 中部国際空港着	—	—

※日程については、調整中であり変更となる可能性があります。

※行事の予定時間は現地時間、行事結果の県政記者クラブへの配布予定時刻は日本時間です。

ポルトガル（リスボン市）：日本時間－8時間

スペイン（マドリード州）：日本時間－7時間